

マウンテンバイク国際大会代表派遣選手選考基準

平成28年 4月 13日
公益財団法人日本自転車競技連盟

国際大会等派遣候補となる選手は、マウンテンバイク小委員会が以下の基準により候補を選考し、本連盟強化委員会・強化本部会に上申する。

1 共通基準

(1) 強化指定選手の中から選考する。

2 選考基準

各大会ごと、次のランキング、または大会上位者より選考する。

a : 2016 マウンテンバイク世界選手権大会 (6/28-7/3 チェコ) クロスカントリー
2016/4/24 ワールド・カップ・オーストリア大会終了後の UCI 個人ランキング上位
2015 全日本選手権大会優勝者
各カテゴリーに最大2名のマウンテンバイク小委員会推薦選手を含める場合がある。

b : 2016 マウンテンバイク世界選手権大会 (9/6-11 イタリア) ダウンヒル
2016/7/全日本選手権大会終了時点発表の UCI 個人ランキング上位
2016 全日本選手権大会優勝者
各カテゴリーに最大2名のマウンテンバイク小委員会推薦選手を含める場合がある。

c : 2016 マウンテンバイク世界選手権大会 (6/25-26 フランス) マラソン
2016/4 未発表の UCI マラソンシリーズ・ランキング上位
2016/4/24 ワールド・カップ・オーストリア大会終了後の UCI 個人ランキング上位
各カテゴリーに最大2名のマウンテンバイク小委員会推薦選手を含める場合がある。

d : マウンテンバイク・アジア選手権 (5/4-8 タイ) クロスカントリー／ダウンヒル
2016/2 末時点発表の UCI 個人ランキング上位
2015 全日本選手権大会優勝者
各カテゴリーに最大2名のマウンテンバイク小委員会推薦選手を含める場合がある。

e : その他の国際大会派遣
2016 強化指定選手よりマウンテンバイク小委員会が推薦する。

* : 各派遣人数については、各大会ガイドラインに基づきマウンテンバイク小委員会にて上申する。

* : 各派遣候補者は、派遣に先立ち自己負担金を納入しなければならない。

3 選考除外

強化指定および強化育成指定選手の指定を解除された者はこれらの選考から除外する。

4 派遣にあたっての方針

(1) 世界選手権大会における種目別派遣者数について

クロスカントリー・オリンピック

原則、優勝者と同一周回にてフィニッシュできる者

但し、クロスカントリー・リレー構成、また若手選手養成にあたる派遣については強く考慮される。

ダウンヒル

原則、ワールド・カップ（2015-2016）において決勝進出をした者
但し、若手養成にあたる派遣については考慮される。

（2）アジア選手権大会

クロスカントリー・オリンピック

男子エリートは3名以上、他、1名以上。クロスカントリー・リレー構成、また若手選手養成
にあたる派遣については強く考慮する。

ダウンヒル

男子エリート2名以上、また若手養成にあたる派遣については考慮される。

以上